

宗像市耐震改修促進計画（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意見	対応	回答
P16	P16 下段目標設定のイメージ図について、青線（自然更新耐震化率）の根拠が明確にされていません。また今回のように新たな計画を策定し施策を講じることが無い場合に、どのくらいの耐震化率になるのかも併せて示された方が良いかと思っておりますがいかがでしょうか。	一部修正（追記）	<p>青線（自然更新耐震化率）は福岡県耐震改修促進計画における建築物の除却・新築に伴う推定耐震化率の考え方を引用しています。また、施策を講じなかった場合の耐震化率については、現状の耐震化率に上述の自然更新耐震化率を加算したものです。</p> <p>なお、内容をより分かりやすいものにするためP17に次の項目を追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然更新耐震化率の推定値 ・「※自然更新耐震化率は、福岡県耐震改修促進計画における建築物の除却・新築に伴う推定耐震化率を引用し算出。」の注釈
P22	住宅の耐震化率を向上させるためには、これまで行ってきた周知や啓発、耐震改修助成金制度等の誘導だけではR12年に目標値には届かないのではないかと危惧しています。P22にはリフォームと一体となった耐震改修工事を促進することとされていますが、住宅リフォームを行う動機の一つとして介護リフォーム（トイレや浴室のバリアフリー化）があげられます。宗像市では介護保険による住宅改修の助成はありますが、その制度は耐震化メニューが含まれておらず、また介護保険の対象とするか否か議論の余地も課題とされています。そこで、リフォーム補助金制度の中に耐震改修や介護リフォームのメニューを設けている、宇都宮市のように住宅改修補助の中に、介護リフォームも耐震改修も対象とする補助制度を創設することで、耐震改修の誘導が促進できると考えます。ご検討されてはいかがでしょうか。	原案どおり	ご意見のとおり、耐震改修の促進については、介護リフォームのほか、住宅の経年劣化に伴うリフォームや高齢者等の負担軽減のためのリフォームなど、幅広いリフォームと一体的に行うことが効率的かつ効果的であると考えています。このため、関連補助制度窓口と連携し、各種補助制度との併用に関する情報提供やより一層の制度周知を行い、耐震化の更なる促進を図ってまいります。
P25	P25 耐震診断アドバイザーに関して（耐震診断アドバイザー人材以外にも幅広い人材活用策として）、資格者としては市内で建築に関係する諸団体に所属している建築士以外にも、市外の公共施設や民間企業等で働いている建築士があげられます。このような方々の力をお借りするためには広く市民向けに宗像市の耐震診断アドバイザーへの登録を呼びかける必要があります。また、登録者をリスト化しておき、耐震診断アドバイザーのみならず、市内建築物の安全性の点検や災害時の住宅罹災診断や災害復旧活動への建築士としての協力要請など、多岐にわたる協力要請が行えるように体制整備のきっかけになると考えます。ご検討されてはいかがでしょうか。	原案どおり	ご意見のとおり、耐震診断アドバイザーや建築士の方々に関しては、幅広く協力要請が行えることが望ましいと考えていますので、関係機関や関係団体と連携を行う旨、計画に記載しているところです。また、耐震診断アドバイザーについては、既に県が登録情報をリスト化し一部公表していますので、協力要請が必要な場合に活用することが期待できます。